

WILCOMM

Complete User Manual for:

 **ウィルノーティファイ**

NOT001 (Last Update : 2002/5/21)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.



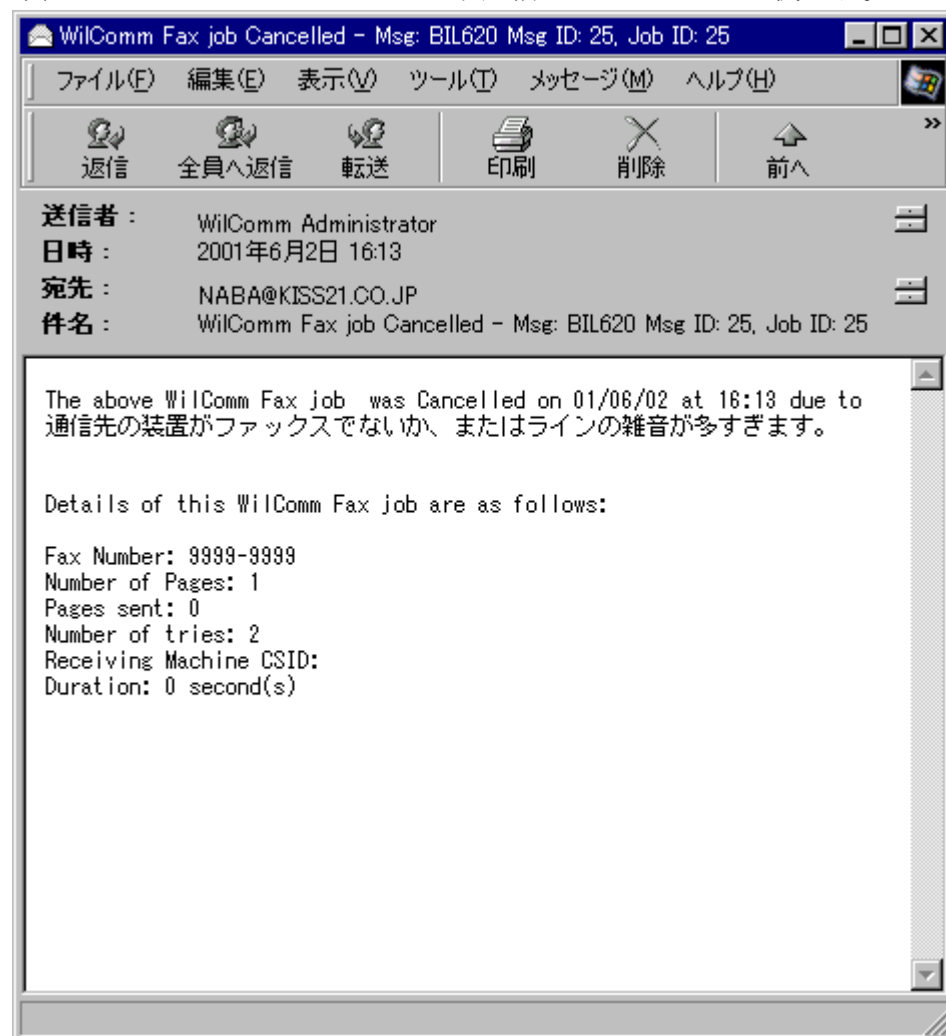
ウィルノーティファイ（メッセージ通知システム）

1. 概要

ウィルノーティファイは他のウィルコム・のモジュール（メール、ファックス、プリント）によって処理された結果をメールにて指定ユーザーへ通知します。これは AS400 側の検索テーブルにてサポートされていた機能をさらに使いやすく、機能拡張したものとして **V3.9 より PC 側の標準機能として追加されました。**

この機能を使用することにより、AS400 側での送信エラーの確認を軽減することが可能になります。また、AS400 以外のプラットフォームでウィルコムを使用される場合の送信状況確認の拡張ツールとしてもお使い頂けます。

下記はウィルノーティファイにより送信されたメールの 1 例です。



対応バージョン

ウィルノーティファイはウィルコム の PC 側のプログラム V3.9 に標準装備されています。
AS400 側のプログラムのバージョンには依存しません。

ウィルノーティファイは、他のウィルコム のモジュールと同様に独立したひとつのサービスという形式で提供されます。起動するには、WilNotify.exe を実行します。スタートアップへ登録することにより自動起動も可能となります。

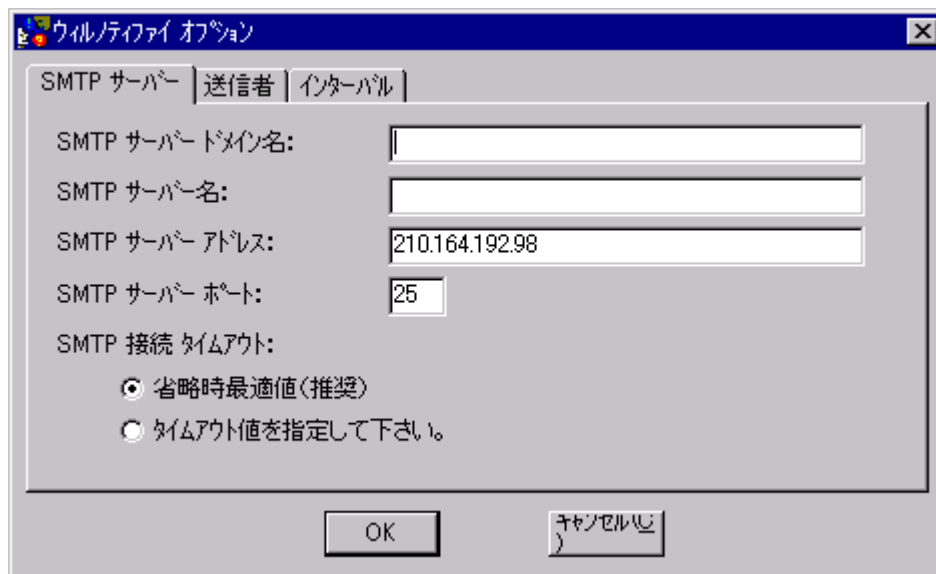
設定方法

ウィルノーティファイの設定はウィルノーティファイ、ウィルコンフィグを使用して行います。
詳細については下記をご参照下さい。

1. ウィルノーティファイを起動します。



メニューバーよりツール・オプションの順に選択します。
下記 SMTP サーバーというタブが表示されますので必要な情報を入力します。



次に送信者というタブを選択します。次ページの画面が表示されます。



この画面ではウィルノーティファイによって送信されるメールの送信者の情報を設定します。

注意：送信者名に漢字（全角）を指定することはできません。半角カナは可。

次にインターバルというタブを選択し、通知メッセージの送信間隔を設定します。



以上でウィルノーティファイの設定は終了です。次にウィルコンフィグの設定をします。

2. ウィルコンフィグを起動します。



WilCommConfig.exe

メニューバーより表示・ピックアップグループの順に選択します。表示されたピックアップグループを選択しクリックすると下記画面が表示されます。ウィルノーティファイはピックアップグループ単位に設定を行えます。

「ウィルコムサービス用 送信Eメールの通知」
「Eメール通知用 Eメールアドレス」
という設定枠が新たに追加されています。（上記参照）

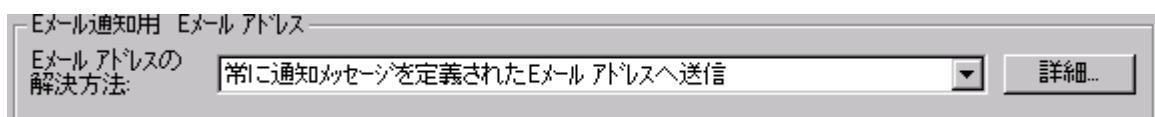
「ウィルコムサービス用 送信Eメールの通知」という枠では、ウィルコムのサービス毎にそれぞれ、どのような送信状況（失敗のみ・すべて・無し）の場合に、メールにて通知するか否かを設定します。（下記参照）



ウィルコム サービス用 送信Eメールの通知

WilPrint: ☐ 失敗のみ ☒ すべて ☐ 無し	WilTelex: ☐ 失敗のみ ☒ すべて ☐ 無し
WilFax: ☐ 失敗のみ ☒ すべて ☐ 無し	WilComtext: ☐ 失敗のみ ☒ すべて ☐ 無し
WilMail: ☐ 失敗のみ ☒ すべて ☐ 無し	

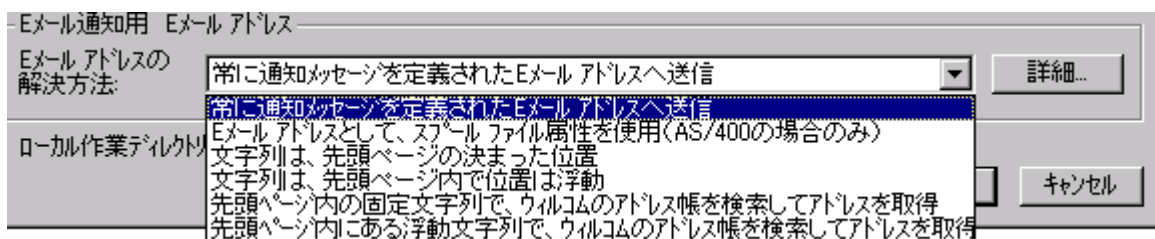
「Eメール通知用 Eメールアドレス」という枠では、Eメールにて通知する宛先に関する設定を行います。



Eメール通知用 Eメールアドレス

Eメール アドレスの解決方法: 常に通知メッセージを定義されたEメール アドレスへ送信 詳細...

上記画面より矢印ボタンをクリックすると下記ウィンドーが表示されます。



Eメール通知用 Eメールアドレス

Eメール アドレスの解決方法: 常に通知メッセージを定義されたEメール アドレスへ送信 詳細...

ローカル作業ディレクトリ

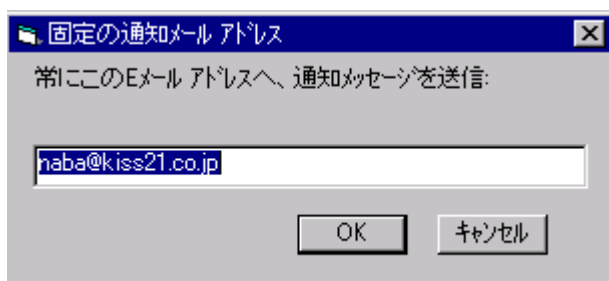
- 常に通知メッセージを定義されたEメール アドレスへ送信
- Eメール アドレスとして、スプール ファイル属性を使用 (AS/400の場合のみ)
- 文字列は、先頭ページの決まった位置
- 文字列は、先頭ページ内で位置は浮動
- 先頭ページ内の固定文字列で、ウィルコムのアドレス帳を検索してアドレスを取得
- 先頭ページ内にある浮動文字列で、ウィルコムのアドレス帳を検索してアドレスを取得

キャンセル

上記ウィンドーより該当するアドレスの解決方法をひとつ選択し、詳細ボタンをクリックします。

・常に通知メッセージを定義されたEメールアドレスへ送信

下記に設定されたアドレスへ常に通知されます。



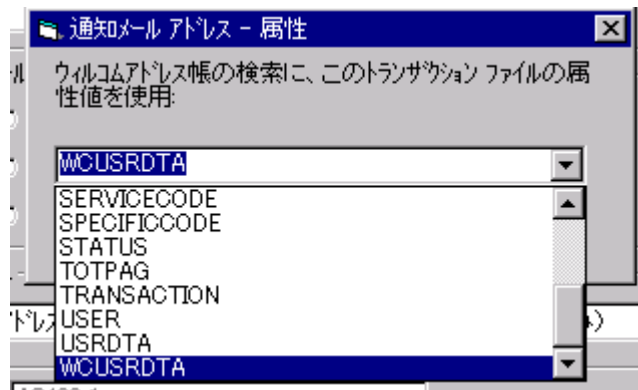
固定の通知メール アドレス

常にこのEメール アドレスへ、通知メッセージを送信:

OK キャンセル

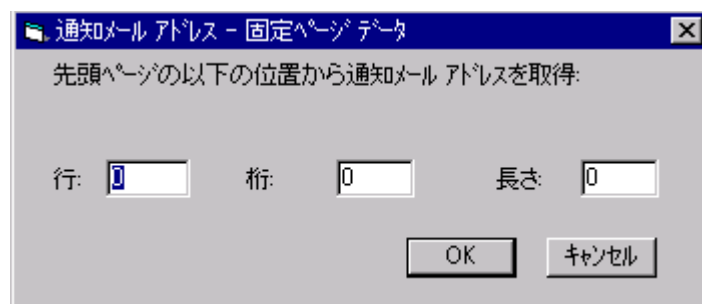
- ・ Eメールアドレスとしてスプールファイル属性を使用（AS400の場合のみ）

スプールファイルの持っている属性、ウィルコムで使用するスペシフィックコード、サービスコードよりアドレス帳を検索し、メールアドレスを確定します。



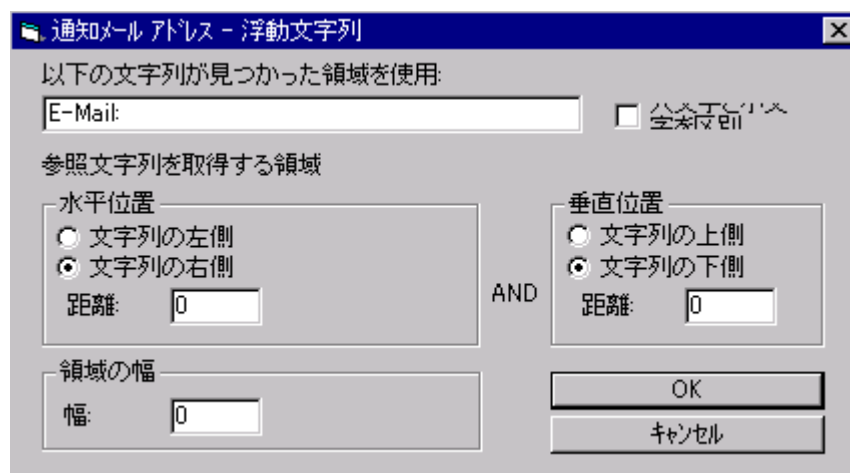
- ・ 文字列は先頭ページの決まった位置

下記にて指定する位置に印字されているアドレスへ通知メールを送信します。



- ・ 文字列は先頭ページ内で位置は浮動

特定のキーワードを検索し、そのキーワードに後続する文字列をEメールアドレスとして取得します。



- ・先頭ページ内の固定文字列でウィルコのアドレス帳を検索してアドレスを取得
下記にて指定する位置に印字されているコードにてウィルコのアドレス帳を検索し、Eメールアドレスを取得します。

注意：指定する位置（行）は必ず印字されている行を指定してください。
例えば、実際の印字は6行目から始まっているのにもかかわらず（1行目から5行目まではスキップ）、指定位置（行）は3行目を指定するとWilCommが実行時エラーを起こします。WilCommで処理を行うスプールファイルが複数ある場合には、その複数のスプールファイル全てにおいて、固定文字列の印字位置を統一する必要があります。

- ・先頭ページ内にある浮動文字列でウィルコのアドレス帳を検索してアドレスを取得
特定のキーワードを検索し、そのキーワードに後続する文字列（コード）にてウィルコのアドレス帳を検索し、Eメールアドレスを取得します。

以上でウィルコンフィグの設定は終了です。

注意：
設定を変更する際は、必ずPC側の全てのウィルコムを一旦、終了させた後、必要な変更を実施してください。

2. 配信対象データとの紐付け

ウィルノーティファイは他のウィルコムのもジュール（メール、ファックス、プリント）によって処理された結果をメールにて指定ユーザーへ通知します。この通知されたメールの件名に様々な情報を設定することが可能です。AS400 側メッセージリストのタイトルをスプールファイルから表示するような設定と組み合わせて使うことにより、送信エラーとなったスプールファイルを容易に検索することが可能になります。

AS/400 側メッセージリストのタイトルの設定方法

MN001301	WILCOMM スプールファイル配布管理システム	システム : S103GWMM
次の中から 1 つを選んでください。		
1. 新規メッセージの作成 2. メッセージ・リストの表示 3. ディレクトリー照会 4. ディレクトリー・メンテナンス 5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信 6. 世界時計 7. クイック・メッセージ表示 8. クイック送信 11. ウィルスプール・ユーティリティ 40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー 50. スプールファイル・インターフェース・メニュー		
		続く ...
選択項目またはコマンド		
==> 50		
F3= 終了 F4=プロンプト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=ユーザーサポート		
F16=AS/400 メインメニュー		

メニュー 50：スプールファイル・インターフェース・メニューを実行します。

MN001303

スプールファイル・インターフェース・メニュー

システム : S103GWMM

次の中から1つを選んでください。

1. 日次処理ファイル編集
 2. SFI 印刷待ち行列の処理
 3. 不整合サブスクライバーの表示
 4. SFI バックグラウンドジョブ "POLL" の投入
 5. SFI バックグラウンドジョブ "POLL" の終了
 6. フォームタイプ・メンテナンス
-
30. WILCOMM スプールファイル配布管理システム
 40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー
 60. アプリケーション・コントロール・メニュー
 70. WILCOMM セキュリティ・メニュー

続く ...

選択項目またはコマンド

====> 6

F3= 終了 F4=プロンプト F9=コメントの複写 F12= 取消し F13=1-サブポート

F16=AS/400 メインメニュー

(C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES

VSN : 7.15

メニュー6：フォームタイプ・メンテナンスを実行します。

WILPLEX SPOOL FILE SUPPORT MENU
... FORM TYPE MAINTENANCE ...

THIS PROGRAM ALLOWS YOU TO DEFINE THE FORMTYPES YOU INTEND TO PROCESS THROUGH THE "SPOOL FILE INTERFACE". IT ALSO ALLOWS YOU TO DEFINE THE "CONTROL VALUES". BOTH OF THESE ACTIVITIES ONLY NEED TO BE PERFORMED ONCE.

WILPLEX FORM TYPE MAINTENANCE

CREATE ... TO CREATE A NEW FORMTYPE DEFINITION, SIMPLY KEY A "1" IN THE TOP SINGLE CHARACTER INPUT FIELD AND THE NAME OF THE NEW FORMTYPE BESIDE IT AND PRESS ENTER.

UPDATE ... TO UPDATE EXISTING FORMTYPE DEFINITION, KEY A "2" BESIDE IT AND PRESS ENTER.

DELETE ... TO DELETE A FORMTYPE DEFINITION, SIMPLY KEY A "4" BESIDE IT AND PRESS ENTER. YOU THEN BE PROMPTED TO CONFIRM ITS DELETION.

FORMTYPE DEFINITION FIELD MEANINGS.

THE "SUBSCRIBER LINE NUMBER" , "SUBSCRIBER OFFSET" & "SUBSCRIBER LENGTH" DEFINE THE CO-ORDINATES AND LENGTH OF THE SUBSCRIBER VALUE WITHIN THE SPOOL +

実行キーを押します。

KOIDE		WILCOMM/400 フォーム タイプ メンテナンス		10:42AM 2/02/23	
位置指定					
オプション を入力して実行					
1= 追加		2= 更新		4= 削除	
6=カバーページ 編集		7=メッセージ タイトル の編集		8=メッセージ データ の編集	
フォーム タイプ	フォーム タイプ	- サブスクライバ - の位置		ライン	ページ
1 BIL620	グループ	ライン NO	オフセット	長さ	宛先
A	A	1	1	30	N
AAA	AAA	1	23	5	N
BIL520	BIL520	15	47	20	N
FAX	FAX	1	1	7	N
FAX01	FAX01	1	1	30	N
JOBLOG	JOBLOG	1	1	30	N
KANETSUD3	KANETSUD3	1	1	30	N
MAILREPLY	MAILREPLY	1	1	30	Y
NSV410	NSV410	14	12	12	N
PDF	PDF	1	2	7	N
QRY	QRY	1	1	30	N
TAK	TAK	1	1	30	N
F3= 終了	F5=リフレッシュ	F8=システム 制御値の変更		F11=フォールト	F12= 前画面

先頭のオプション欄に1を入力します。

右隣のフォームタイプ欄に、新しく登録するフォームタイプを入力して実行キーを押します。

スプールファイルの用紙タイプの値を基に、フォームタイプメンテナンスで作成されたフォームタイプを検索します。用紙タイプの値と一致するフォームタイプが存在する場合に、以降で設定された値が、WilCommによって自動でメッセージリストタイトルに表示されます。

オプションを選択して、実行キー

フォームタイプ BIL620

サブスクライバ - ライン 番号 1

サブスクライバ - オフセット 1

サブスクライバ - 長さ 30

ライン パ - ページ 66

データメッセージ 要求 N

複数宛先可能な スプールファイル . N

ファックスヘッダ -

ファックスフッター

フォームタイプ グループ BIL620

F3= 終了

F12= 前画面

実行キーを押します。

KOIDE		WILCOMM/400 フォーム タイプ メンテナンス		10:45AM 2/02/23		
位置指定						
オプション を入力して実行						
1= 追加		2= 更新		4= 削除		
6=カバーページ 編集		7=メッセージ タイトル の編集		8=メッセージ データ の編集		
フォーム タイプ	フォーム タイプ グループ	- サブ スライバ - ライン NO	の位置 オフセット	- ライン 長さ	パ - ページ	複数 宛先
A	A	1	1	30	66	N
AAA	AAA	1	23	5	66	N
BIL520	BIL520	15	47	20	66	N
7 BIL620	BIL620	1	1	30	66	N
FAX	FAX	1	1	7	66	N
FAX01	FAX01	1	1	30	66	N
JOBLOG	JOBLOG	1	1	30	66	N
KANETSUD3	KANETSUD3	1	1	30	66	N
MAILREPLY	MAILREPLY	1	1	30	66	Y
NSV410	NSV410	14	12	12	66	N
PDF	PDF	1	2	7	66	N
QRY	QRY	1	1	30	66	N
F3= 終了	F5=リフレッシュ	F8=システム 制御値の変更		F11=フォールト F12= 前画面		

新しく登録したフォームタイプのオプション欄に7を入力して実行キーを押します。


```

      ページ レアウト デザイン
フォーム: BIL620          メッセージ タイトル フォーマット 編集          トップ ライン:   1
                                   レフト カラム :       1
.....

*... . メッセージ データ メンテナンス          NEW <001-001>          . ...
    . フォーム タイプ          BIL620          .
    .   終了 ライン 番号     1          .
    .   終了 オフセット     1          .
    .   開始 ライン 番号     _____ .
    .   開始 オフセット     _____ .
    . データ/ストリング 長     _____ .
    .   挿入 ストリング     管理No :          .
    .                               _____ .
    .                               _____ .
    .                               _____ .
    .                               _____ .
    . F7=オリジナル 値の保管          F10= 複写          F12= 終了          .
    .                               _____ .
.....

F1=ヘルプ           F5=リフレッシュ           F6=レフト/トップ 値の変更           F12= 前画面
F15=フォーム を 1 行下に移動         F16=フォーム を 1 行上に移動

```

ここでは、固定ストリングの設定方法を説明します。
挿入ストリングに、表示させたい文字列を入力します。
データ／ストリング長に、入力した文字列の長さを指定します。
実行キーを押します。

※データ／ストリング長を指定しない場合でも、自動計算されます。

その場合は実行キーを押すと、**STRING LENGTH CALCULATED** という確認メッセージが表示されますので、もう1回実行キーを押して下さい。

ペーシ レイアウト デザイン

フォーム： BIL620 メッセージ タイトル フォーマット 編集 トップ ライン： 1
 レフト カラム： 1

*...+...1....+...2....+...3....+...4....+...5....+...6....+...7....+

管理No :

F1=ヘルプ F5=リフレッシュ F6=レフト/トップ 値の変更 F12= 前画面
F15=フォーム を 1行下に移動 F16=フォーム を 1行上に移動

カーソルを“ 管理No： ”の右側、13桁目の位置へ持って行って、実行キーを押します。

ページ レイアウト デザイン			
フォーム: BIL620	メッセージ タイトル フォーマット 編集	トップ ライン: 1	レフト カラム: 1
.....			
* ...	メッセージ データ メンテナンス	NEW <001-013>	...
管	フォーム タイプ	BIL620	.
	終了 ライン 番号	<u>1</u>	.
	終了 オフセット	<u>13</u>	.
	開始 ライン 番号	<u>12</u>	.
	開始 オフセット	<u>56</u>	.
	データ/ストリング 長	<u>6</u>	.
	挿入 ストリング	_____	.
		_____	.
		_____	.
	F7=オリジナル 値の保管	F10= 複写	F12= 終了
			.
.....			
F1=ヘルプ	F5=リフレッシュ	F6=レフト/トップ 値の変更	F12= 前画面
F15=フォーム を 1 行下に移動		F16=フォーム を 1 行上に移動	

メッセージリストの件名に表示させたいスプールファイル中の印刷データ域を指定します。
 開始ライン番号に、印刷データ域（例：管理No）の印字されている行を指定します。
 開始オフセットに、印刷データ域の印字が開始されている桁を指定します。
 データ／ストリング長に、印刷データ域の幅を指定します。

実行キーを押します。

※帳票から取得できるデータは、1～132 桁目までになります。

フォーム: BIL620	ページ レイアウト デザイン メッセージ タイトル フォーマット 編集	トップ ライン: 1 レフト カラム : 1
*...+...1...+...2...+...3...+...4...+...5...+...6...+...7...+... 管理No : <---->		
F1=ヘルプ F5=リフレッシュ F6=レフト/トップ 値の変更 F12= 前画面 F15=フォーム を 1 行下に移動 F16=フォーム を 1 行上に移動		

スプールデータから取得したデータを表示するエリアが予約されます。

設定が終わったら、F12 キーを押して終了します。

※メッセージリストに表示されるタイトルは 50 桁までです。
従って、設定は 50 桁以内になるように行って下さい。

フォーマット: 1 KOIDE		WILCOMM メッセージ・リスト	11:16AM
2/02/23			
メッセージ	件名		状況
MSG12220	<R> 03-5408-7683		FAX 処理中
MSG12219	SBS00000060 02/02/21 TEST		FIL 送信済
MSG12218	MASA 02/02/20 CSV ファイル送信		E-M 送信済
MSG12216	WILCOMM インターセプター : PDF 変換		E-M 送信済
MSG12215	<R> 5408-7683		FAX 送信済
MSG12213	WILCOMM インターセプター : PDF 変換		E-M 送信済
MSG12212	<R> 5408-7683		FAX 送信済
MSG12217	WILCOMM インターセプター : JNMOBILE		E-M 送信済
MSG12214	WILCOMM インターセプター : JNMOBILE		E-M 送信済
MSG12226	管理No : 906908		送信中
MSG12222	WILCOMM インターセプター : KOIDE-P		PRT 印刷済
MSG12221	SAMPLE 02/02/21 SP00L -> PDF-FILE		FIL 送信済
1= 編集 2= 変更 3=コピー 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 7=アドレス 8= 送信 9= 保留 0= 開放 F3= 終了 F4=メッセージ 表示 F5= 最新表示 F6= 新規作成 F7=フォーマット 選択 F8=ディレクトリー F9=ユーザー・オプション F10=フィルター F11= 表示切替 F12= 前画面			

実行結果は上記のようになります。
表示されている管理No : は、印刷物に印刷されていたものです。

エラー通知メールの件名の設定方法

ウィルコムコンフィグを起動します。



WilCommConfig.exe

メニューバーより表示・ピックアップグループの順に選択します。

ピックアップグループ編集

ピックアップグループ: AS400_2

ファイルの取り出し

ピックアップディレクトリ: H

ファイル名: *

ファイル形式: トランザクション ファイル名は、アドレス パラメータとスプール ファイル属性が記述されています。 [詳細]

参照: スプール ファイル属性 [詳細]

ホストからメールに添付されるファイル

ピックアップディレクトリ: 文字列は、先頭ページの決まった位置
文字列は、先頭ページ内で位置が浮動

ホストへ送る実行結果

☒ 以下のディレクトリへ、実行結果のファイルを作成

HRESULTS

ファイル拡張子: [詳細]

ウィルコム サービス用 送信メールの通知

WilPrint: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し WilTelex: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilFax: ☒ 失敗のみ ☐ すべて ☐ 無し WilContext: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilMail: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

メール通知用 Eメール アドレス

Eメール アドレスの解決方法: 常に通知メッセージを定義されたEメール アドレスへ送信 [詳細]

ローカル作業ディレクトリ: AS400_2

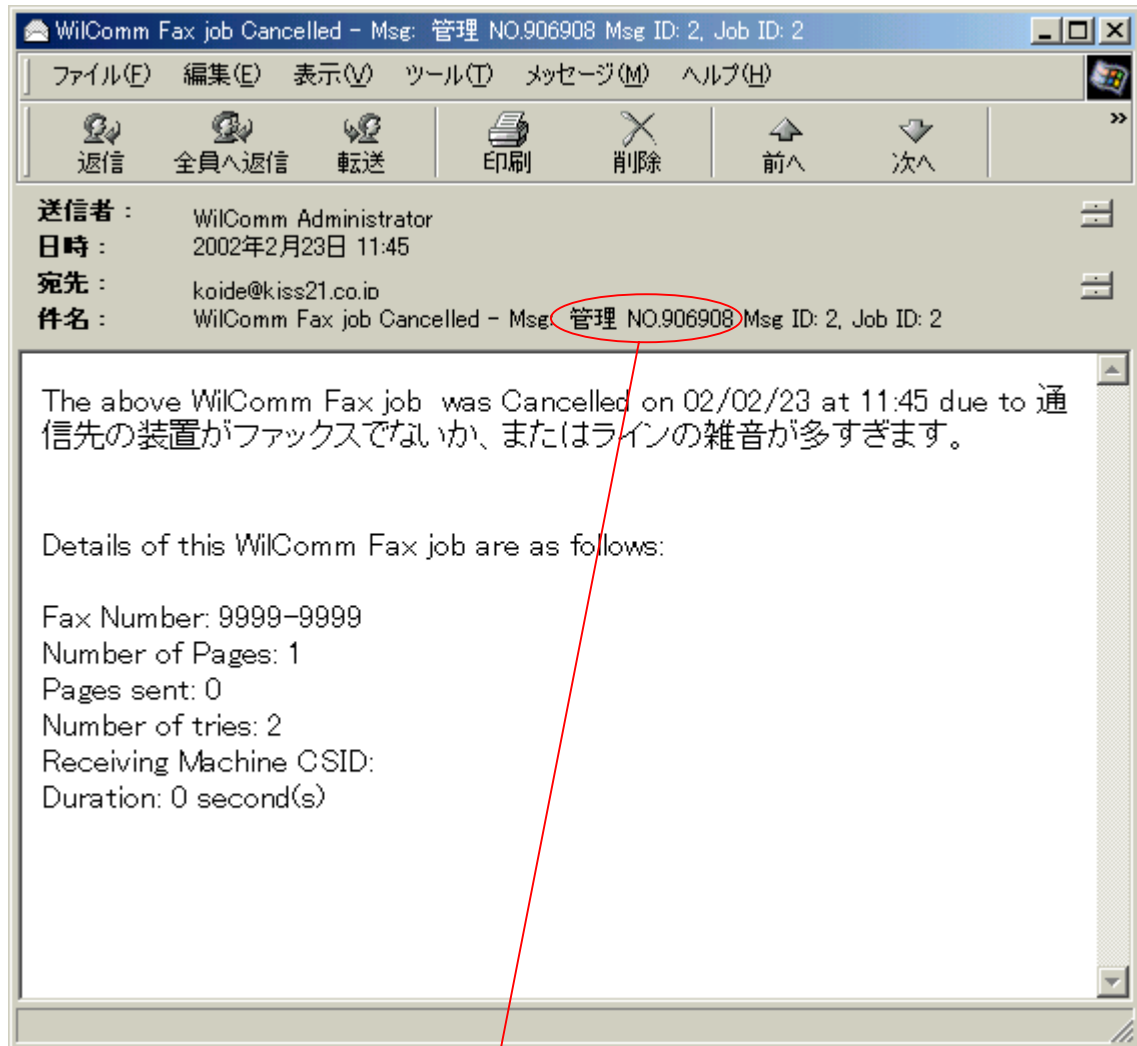
OK キャンセル

「ファイルの取り出し」の「参照」を設定することにより、ウィルノーティファイにより送信されたメールの件名に情報を設定することができます。

- “スプールファイル属性”を選択した場合は、スプールファイル名や作成者などのスプールファイル属性の値が件名にセットされます。
- “ファイル名”を選択した場合は、WilCommが自動で付番して作成されたファイル名が件名にセットされます。
- “文字列は、先頭ページの決まった位置”または、“文字列は、先頭ページ内で位置は浮動”を選択された場合は、スプールファイルの1ページ目の印字データを取得し件名にセットされます。

注意：ここで設定された値はWilMailの添付ファイル名にも使用されます。

「ファイルの取り出し」の「参照」を“文字列は、先頭ページの決まった位置”を選択した場合のエラー通知メッセージとメッセージリスト



フォーマット: 1	KOIDE	WILCOMM	メッセージ・リスト	11:42AM
2/02/23				
メッセージ	件名			状況
MSG12220	<R> 03-5408-7683			FAX 処理中
MSG12219	SBS00000060	02/02/21	TEST	FIL 送信済
MSG12218	MASA	02/02/20	CSV ファイル送信	E-M 送信済
MSG12216	WILCOMM インターセプター	:	PDF 変換	E-M 送信済
MSG12215	<R> 5408-7683			FAX 送信済
MSG12213	WILCOMM インターセプター	:	PDF 変換	E-M 送信済
MSG12212	<R> 5408-7683			FAX 送信済
MSG12217	WILCOMM インターセプター	:	JNMOBILE	E-M 送信済
MSG12214	WILCOMM インターセプター	:	JNMOBILE	E-M 送信済
MSG12226	管理 NO : 906908			FAX エラー <F